

富士見市防災環境カルテ
羽沢2丁目町会

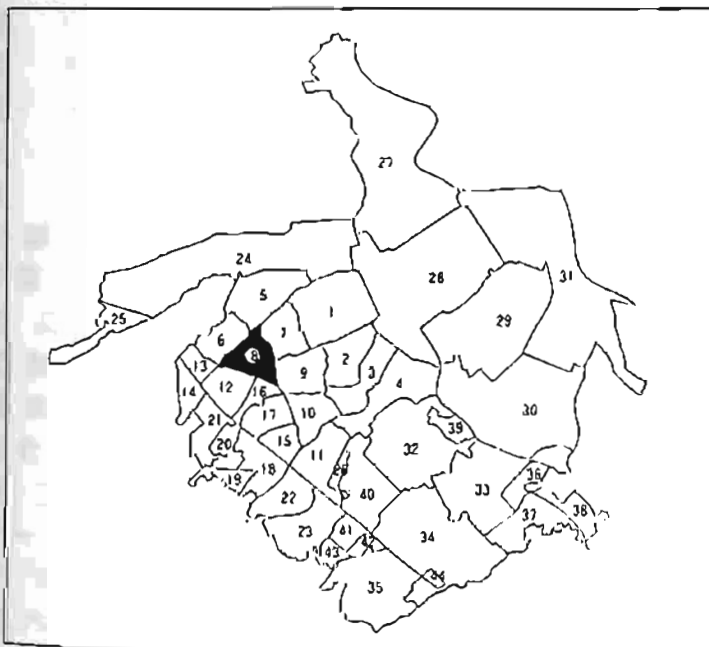
位置番号 8

・概況

羽沢2丁目町会は、富士見市の北西部に位置し、全体的に台地（台地段丘）で形成されている。環境は、武蔵野台地上の住宅と畑に囲まれた良好な地域である。南部には県道大井・朝霞線が通り、南東部には鶴瀬小学校、市立図書館の公共施設がある。

水害は、水害履歴から台風による大雨により、住宅地のまわりの畑が冠水する内水災害が予想される。地震災害は、木造建物密集地で火災が発生した場合、延焼の危険性がやや高いと予想される。

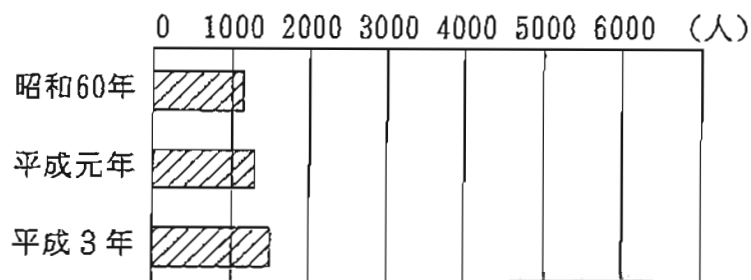
・位置図



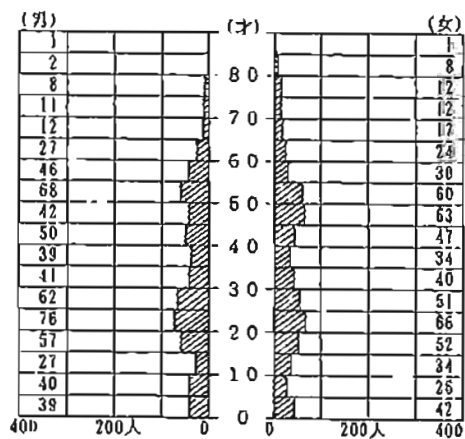
1. 基礎指標

・面積	0.205 km ²
・人口(平成3年10月1日現在) 男	652人
女	623人
計	1,275人
・人口密度	6,219.5人/km ²
・寝たきり老人数	4人
・ひとり暮らし老人数	5人
・世帯数	422世帯

・人口推移

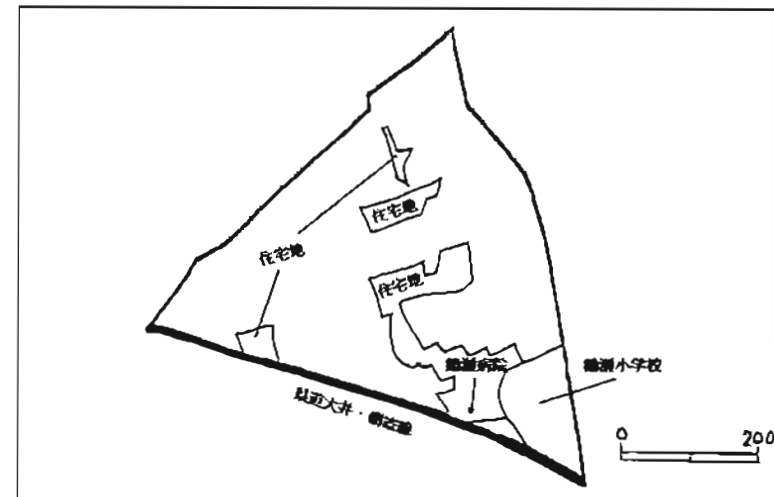


・年齢別人口(平成3年)

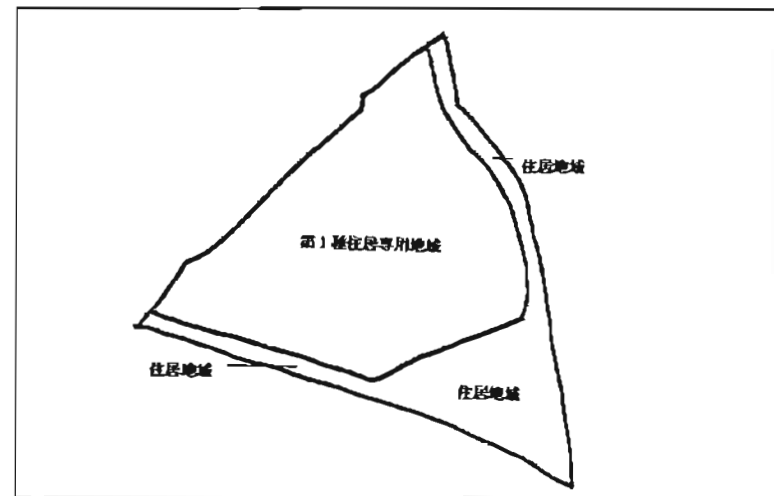


・商住工混在率住居系	92.7%
店舗系	3.5%
工業系	3.8%

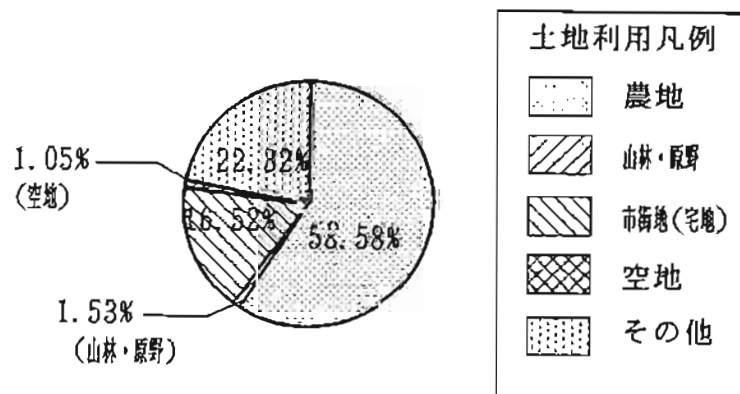
・町会現況図



・用途地域図



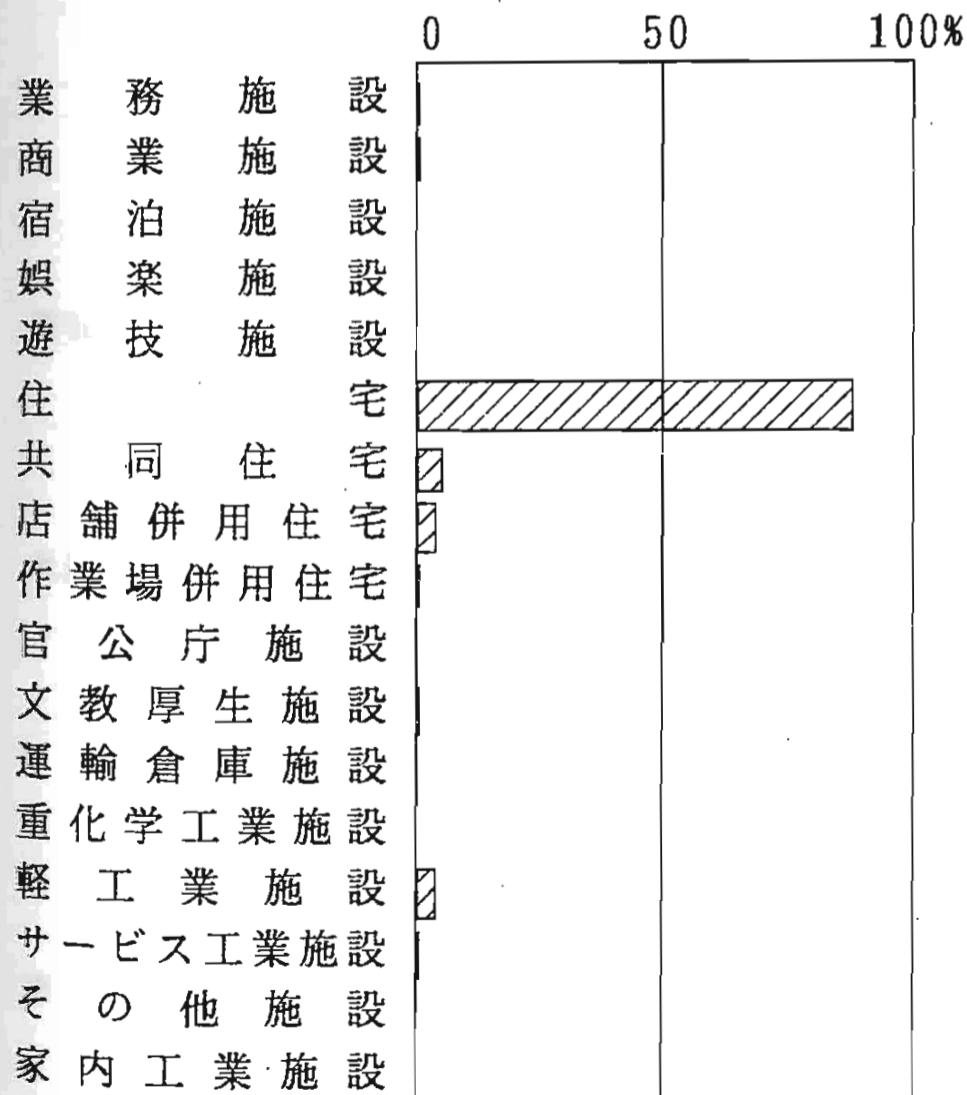
・土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	426棟
・木造建物	392棟
・非木造建物	34棟
・建物面積	20,669.87㎡
・木造建物	17,065.06㎡
・非木造建物	3,604.81㎡
※建物面積は1階の面積	
・住宅率	88.3%
・木造率	92.0% (392棟)
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	33棟
・同上率	8.4%
・建物階層別現況 (木造建物)	
1階	126棟 32.1%
2階以上	266棟 67.9%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	28本 136.6本/㎢
・幹線道路率	3本 14.6本/㎢
・公共空地面積	12,159.2㎡
・公共空地率	5.9%
・1人あたり公共空地	9.5㎡/人
・公共空地内容 (*指定避難所)	
名称	面積
1. 高校	0㎡
2. 中学校	0㎡
3. 鶴瀬小学校*	12,159.2㎡
4. 公園	0㎡

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 所沢市、川越地区消防組合、 応援協定 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	16本
・1消火栓あたり世帯数	26.4世帯/本
・消防水利貯水施設数	3 (1) か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	0か所
・一般取扱所	0か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和57年 9月(颯18号)	6棟	0棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
崖崩れ被害 (年 ~ 年)			0件
・火災出火件数 (年 ~ 年)			0件
・1923関東大地震被害			
家屋全壊			0戸
家屋半壊			0戸
被害率			0%

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	1か所	鶴瀬病院
医 院	0か所	
休日診療所	0か所	
警 察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

8. 危険度評価

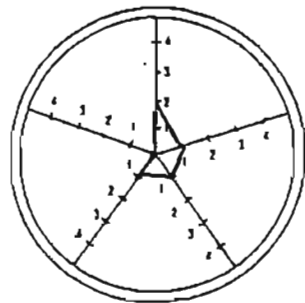
・内水災害危険度	2ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	1ランク

地盤	地盤の地震動危険度	1ランク
危険度	液状化危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



液状化危険度

木造建物被害危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危険度

9. 地盤条件

地盤は、町会全体が台地で硬く、震度5(+) (強震の強い方) の地震が予想される。

10. 問題点の整理

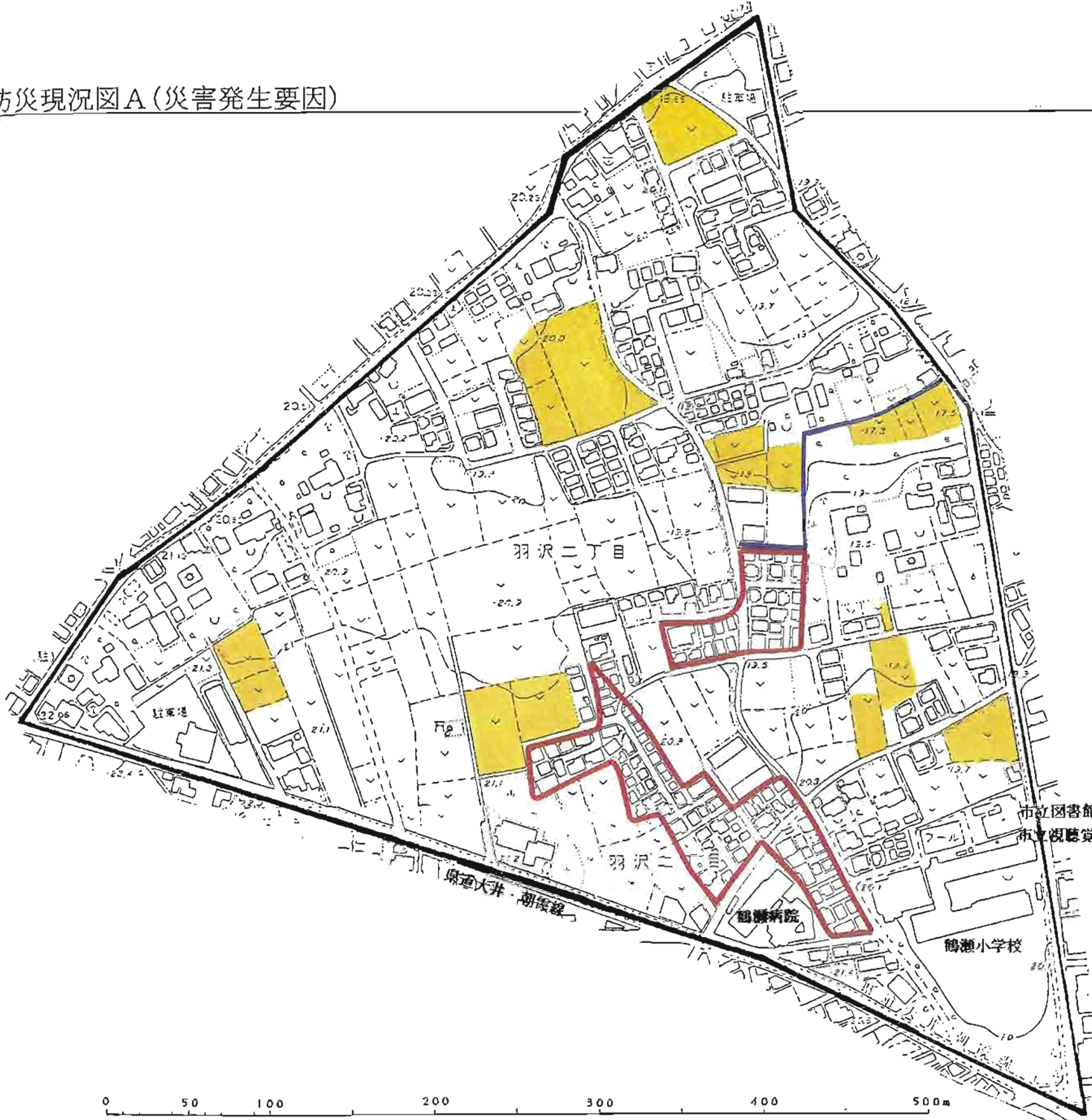
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	道路沿いの下水路からの溢水。	1. 水防能力	水防施設は、設置されていない。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いため、倒壊の危険性は低い。	3. 消防能力	木造住宅密集地内の生活道路に、一部道路幅が狭い所があるため、消防車の消火活動に支障をきたす。
4. 出火危険	出火の危険性は低い。	4. 防火能力	木造家屋密集地域の防火能力は低い。
5. 延焼危険	延焼の危険性は不燃領域率が70%以上と見込まれるため延焼の恐れは低い。ただし、木造建物密集地では、火災が発生した場合、延焼の危険性がやや高いと予想されるので注意が必要である。	5. 避難収容力	避難所(鶴瀬小学校)は、羽沢1丁目町会、上沢1丁目町会、上沢2丁目町会と共用するため、収容力は十分とはいえない。1人あたりの公共空地は9.5㎡/人と見込まれる。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

内水災害は、大きな被害とはならないが、住宅地内の下水の溢水を防ぐ下水路の整備が望まれる。避難可能な道路(主に幹線道路)は、その道路に沿ったブロック塀の倒壊、また商店街にある自動販売機の転倒による道路の狭隘化を防ぐ対策指導が望まれる。また、住宅地内のブロック塀倒壊予防の対策指導が必要である。

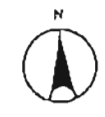
※ 想定震度 5(+) (強震(強))

防災現況図A(災害発生要因)

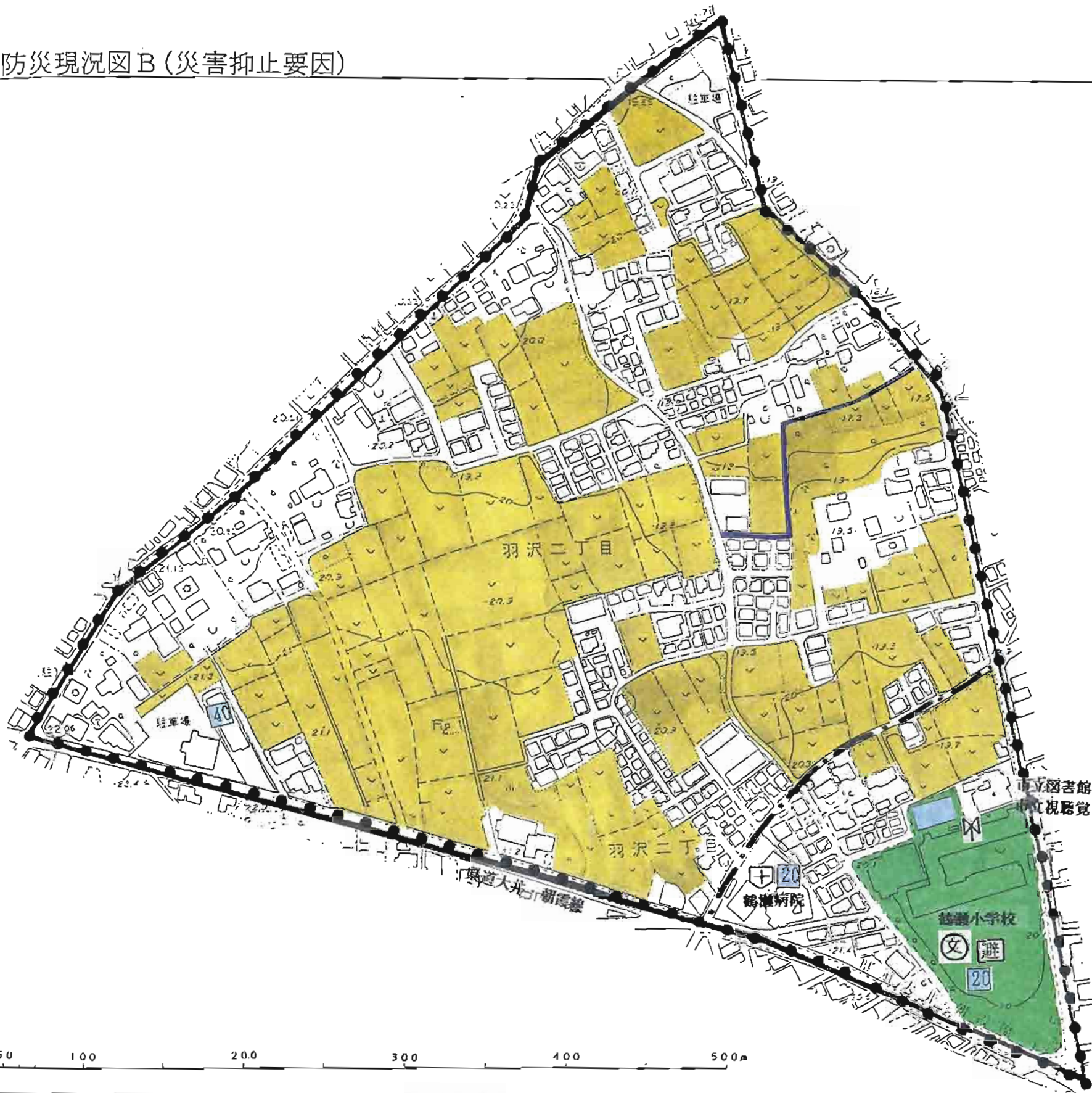


凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立 体 交 差
■	木造家屋密集地域
—	河 川 ・ 水 面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河 川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

市立図書館
 市立視聴覚ライブラリー

鶴瀬病院

鶴瀬小学校

県道大井朝霞線

0 50 100 200 300 400 500m

